



竹田市の幼稚園児が水田にアイガモのひなを放しました。

優しくアイガモを放す園児



生後1週間ほどのアイガモを手にするしらゆり幼稚園児＝竹田市中角

2020年6月17日付 大分合同新聞16面

お仕事頑張って 園児、アイガモ放す

竹田市

【竹田】竹田市竹田のしらゆり幼稚園（吉岡洋子園長）の園児が12日、同市中角でアイガモ農法を実践している後藤清幸さん（73）の水田にアイガモのひなを放した。食育や動物との触れ合いを目的に後藤さんが毎年招待している。17年目。年長15人と年中19人が訪問し、後藤さんが「アイガモは水田内の雑草や虫を食べるので除草剤がいらな

い」と説明。園児は生後1週間ほどのアイガモを1人1羽ずつ水田に放した。水面を泳ぐ姿を見て「アイガモさん頑張って」と声を上げた。年長の阿南俊宣（としのぶ）ちゃん（5）は「かわいかった。たくさん働いて、おいしい米を作る手伝いをしてほしい」と話した。（山田志朗）

<ことば>農法（のうほう）農業のしかた 食育（しょくいく）食にかんする教育。食生活について 学ぶこと 除草剤（じょそうざい）雑草をからすための薬

① 田んぼにアイガモを放すのはなぜ？ （ ）に入る言葉を書いてください。

アイガモは水田内の（ ）や（ ）を食べるので（ ）を使わなくてすむから。

② 園児たちは、アイガモを何羽放しましたか？

③ コメ作りは、雑草や害虫とりのほか、どんな作業がありますか？